

生涯学習
レター

全国生涯学習市町村協議会

全国生涯学習市町村協議会
ホームページアドレス <http://www.gakushu.jp>

事務局

〒089-3392

北海道中川郡本別町北2丁目4番地1

北海道本別町企画振興課内

TEL 0156-22-8121

FAX 0156-22-3237

全国生涯学習市町村協議会共催事業（栃木県佐野市で継続開催決定）
生涯学習まちづくりの先進事例を情報交換「全国学びとまちづくり
フォーラムin佐野」開催される平成25年
2月9日(土)～10日(日)

▼基調講演（9日）

「人間観光」佐野市まちづくり
実践のとき聖徳大学生涯学習研究所長
福留 強氏

栃木県佐野市において、生涯学習によるまちづくりに取り組まれている自治体や関係者が一同に会し、実践事例の徹底した情報交換や研究発表を行うことにより、相互の活性化を含め、さらなる生涯学習によるまちづくりの発展に寄与することを目的として、本協議会共催事業として、東日本初の試みとなる「全国学びとまちづくりフォーラムin佐野」が2日間で延べ2700名を超える参加者のもと、盛大に開催されました。

○平成25年2月9日(土)～10日(日)

○佐野市文化会館ほか

○主催 大会実行委員会

佐野市・佐野市教育委員会

○共催 全国生涯学習市町村協議会

全国生涯学習まちづくり協会

○後援 文部科学省・栃木県教育委員会・

(財)地域活性化センター

○協力 聖徳大学生涯学習研究所・(株)ス

コーレ家庭教育振興協会・(財)日

本余暇文化研究会・TOS S

ほか



▼交流会（9日）

初日の夜は、交流会が開催され、会場には参加者の地元特産品や展示品等が並び、いたるところで全国の参加者同士、活発な情報交換が行われました。



交流会で挨拶する高橋会長

▼分科会（10日）

2日目となる10日(日)は、6つのテーマによる分科会が各会場で行われ、各テーマに沿った活動を実践されている自治体や関係者が全国から集まり、事例発表を行うとともに、参加者との質疑応答や意見交換等が行われました。

【第1分科会】

「子どもはやっぱり地域の宝物！」

～子ども・子育て支援・青少年・学社連携～

【第2分科会】

「まち×学び×つなぐ×たまり場」

～創年・成人教育・市民活動～

【第3分科会】

「地域づくりに活躍する女性たち」

～女性・女子力～

【第4分科会】

「協働のまちづくりに向けて」

～観光・環境・景観・まちなか活性化～



【第5分科会】

「向こう三軒両どなり」

「コミュニティ・自治会・町内会」

【第6分科会】

「生涯学習まちづくりの可能性」

「生涯学習まちづくり・公共施設の活用」

▼シンポジウム（10日）

「今こそ生涯学習の時代！」

分科会終了後にはシンポジウムが行われ、生涯学習社会の構築に向けて、市民活動や学校教育、行政等で活躍されている方々が、それぞれの立場から生涯学習によるまちづくりについて意見を述べられ、参加者への生涯学習、地域活動への積極的な参加を勧める提言がありました。

パネリスト

社団法人スコレ家庭教育振興協会会長

永池 榮吉氏

学校法人緑ヶ丘学院理事長

大田 順子氏

学校法人恵泉女学園学園長

松下 俱子氏

文部科学省生涯学習政策局政策課長

藤野 公之氏

佐野市長・全国生涯学習市町村協議会理事

岡部 正英氏

司会

聖徳大学生涯学習研究所長

福留 強氏



▼楽習講師フェア（両日）

両日にわたって、「楽習講師フェア」

として佐野市の楽習講師（佐野市にボランティア講師として登録している個人や団体）によるステージ発表や展示・体験

コーナーが設

けられ

たほか、

絵画や

彫刻な

ど生涯

学習の

成果発

表とし

て「静

のア

ト展」が同時開催され、お年寄りから子どもまで幅広い年代の方が楽しんで参加されました。



社会情勢は日々めまぐるしい勢いで変化しており、その変化に対応するためには、地域を支える多様な人材の育成が必要であるとともに、一人ひとりの持つ能力や可能性を伸ばしていくことも重要であり、地域の活性化に向けて生涯学習の意義はますます大きくなっています。今後、全国各地の先進的な取組を学び交流を図ることができる本フォーラムを引き続き共催していきたいと考えています。

市町村協議会で積極的な交流を

全国生涯学習市町村協議会世話人
聖徳大学生涯学習研究所長

福留 強

昨年末、「生涯学習アジア太平洋会議」に出席して、日本の生涯学習まちづくりの動向についてレポートする機会をいただきました。会長は中国、会場国、韓国。「日本からの参加がゼロですが…」という事情に、依頼から40時間後に、韓国麗水市にわたるという急な大会への参加でした。オーストラリア、香港、韓国、ゲストのフィンランド、など6カ国が発表し、「日本の過疎地におけるまちづくり」の取り組みの事例等に注目が浴びました。会議では、ベトナム、マレーシア、シンガポールなど、生涯学習や生涯学習フェスティバルなど、それぞれの国で行っていることを知りました。いまや、生涯学習でまちづくりは、かなりの国で話題になっていくようです。

昨年夏、金ヶ崎町で開催した「第1回日韓生涯学習まちづくりフォーラム」につづいて、第2回の大会が韓国のテグ市で、平成25年10月11

岩手県金ケ崎町
にて開催

集い、語り合おう！ 学びを生かしたまちづくり 日韓生涯学習 まちづくりフォーラム



金ケ崎町では、日韓両国の生涯学習のまちづくりに取り組んでいる関係者が共通のテーマで討論し、地域活性化に役立てることを目的として、生涯学習専門家や行政関係者、住民等、延べ約600人の参加のもと、まちづくりフォーラムを開催しました。

大会の最後には、「韓国テグ市での第2回目の開催（平成25年度）」が提起されました。

○平成24年8月25日（土）

○金ケ崎町文化体育館及び金ケ崎町中央生涯教育センター

▼基調提言

「2つの国の生涯学習宣言都市から学ぶまちづくり」

NPO法人全国生涯学習まちづくり協会理事長
聖徳大学名誉教授

福岡 強氏

生涯学習は生活を高めること、市民活動が中心になること、コミュニケーション形成にとっても生涯学習が最もふさわしいことなどが述べられるとともに、この生涯

学習を巡って日韓の継続的な交流、研究が有効なことなどが提唱されました。



▼シンポジウム

「地域の活性化と生涯学習
～日韓両国のまちづくりの推進～」

○韓国学校生涯教育研究会

クワチョン市官門小学校長

金 得 永 氏

家庭と町、学校とのパートナーシップの重要性を、教育現場の立場から報告されました。

○韓国国家生涯教育振興院長

崔 云 實 氏

韓国内の生涯学習都市を支援する立場から、生涯教育はこれまで識字教育が主要なものでしたが、近年は学習成果を職につなげる傾向がみられ、学習を通じて新しい仕事を創出することが重要な課題と話されました。

○全国生涯学習都市協議会長

テグ市東区長 李 在 晩 氏

良いまちづくりは住民自らが学習し参画することであり、持続可能な自立のまちづくりに重点を置くことを強調されました。

○文部科学省大臣官房審議官

（生涯学習政策局担当） 上月 正 博 氏

これまで培ってきた学びを、広く県内外、国外の人とのオープンなネットワークを作って多様な人に広げて行くことが、さらに進化したまちづくりに繋がる、と示唆されました。

○全国生涯学習市町村協議会副会長

佐賀県多久市長 横 尾 俊 彦 氏

すべてのまちには歴史があり、その歴史を知り、地元を知り、子や孫に伝える。それにより地域やまちにプライドをもち、新しい時代のまちづくりに繋げていくことが期待できる、と述べられました。

12日に「第2回韓国生涯学習エキスポ」のメイン事業として実施が決まりました。

「こうした交流の積み上げしか日韓の溝は解決しませんね」といわれた韓国代表の言葉を思い出しますが、韓国が日本を追い抜こうと努力する様子が伝わってきます。

全国生涯学習市町村協議会が発足した平成11年11月11日ですが、当時は総合行政を推進する自治体がふえ、生涯学習宣言都市も増えた時期でした。今日、財政事情の悪化や町村合併後、会員が減少してしまいましたが、加盟の各自治体は、積極的なまちづくりを展開しています。

全国生涯学習市町村協議会は、会員相互の情報交流により、それぞれの地域活性化に資するというねらいがあります。積極的に広く内外の情報を得て、自らのまちを元気にするという基本的な役割のほかに、文部科学省など中央省庁とも積極的に打ち合わせることができるというメリットもあります。

秋の、矢板市の「空き」（廃校）活用研究フォーラム（9月10日）などとともに、会員が集まり交流が行われますが、積極的に協議会を通じて交流を深めていた、だいたいと思います。

○岩手県金ケ崎町長 高橋 由一氏
「生涯教育の町」を宣言し「豊かで
生きがいのある平和な協働社会」の実
現に取り組んで30年余りが経過し、学
びを生かした住民協働型のまちづくり
を展開していることを報告しました。

※コーディネーター 福留 強氏



▼分科会

3つの分科会で、各テーマに沿って日
本各地のまちづくりの取り組み事例が発
表されました。

【第一分科会】

「自治会・町内会の地域づくり」

○震災復興西部地区まつり

金ケ崎町西部地区自治会連合会長

千葉良作氏

地域活性化事業として地区文化祭
「海と山を結ぶ小さな絆」を実施し芸
能交流、農漁産物交流を図りました。

○立川市大山団地の挑戦

立川市大山団地自治会長

佐藤 良子氏

団地の住民同士のネットワークを生
かし、地域を活性化しています。

○公民館と地区協議会の連携事業

黒石市教育委員会社会教育課長

駒井 昭雄氏

公民館と地区協議会との連携を図り
ながら地域づくりを推進しています。

※コーディネーター

まちづくり協会東北支部長

渡部 一清氏

【第二分科会】

「地域で取り組む子育て」

○子どもは地域の宝

風揚げ大会・三世代交流

金ケ崎町三ヶ尻地区活性化委員会

事務局長 板宮 成悦氏

子どもたちも参加して地域ぐるみで
の「風揚げ大会・B級グルメ」を実施
し、また郷土芸能の伝承が長く続けら
れています。

○後生に伝え残したい心と知恵

「わたしたちにできること」

矢板市ふるさと創年大学

矢板市ふるさと創年大学

矢板市ふるさと創年大学

櫻井 義子氏



矢板市ふるさと創年大学の活動の中
で、子どもたちとの交流を通して健全
育成を図っています。

○子どもと地域と教師

T O S S 銀河東北中央事務局

T O S S 銀河T S 田村 治男氏

学校教育の中に、震災復興授業とし
て観光やまちづくりという教材を導入
して実践活動をしています。

※コーディネーター

聖徳大学教授

清水 英男氏

【第三分科会】

「女性によるまちづくり」

○金ケ崎町女性百人会の取り組み

金ケ崎町女性百人会代表

横田 恵子氏

女性の力を生かして町を元気にする
ため、さまざまな事業に取り組み、女
性の町づくり団体の定着・持続を目指
しています。

○安房文化遺産をまちづくりに生かす

館山市N P O 法人安房文化遺産フォーラム

事務局長 池田 恵美子氏

埋もれた文化遺産を掘り起こし、磨
きをかけていく活動をしています。

○地域の生きがいサポート

静岡県長泉町生きがいサポートルーム

ふいらんソロपी代表

青木 早枝子氏

子育てサポートと生きがいサポート
として相談と学習活動をしています。

※コーディネーター

埼玉県教育事務局市町村支援部生涯学

習文化課 副課長 加藤 美幸氏



協議会ネットワークの支援・拡大を

全国生涯学習市町村協議会会長

北海道本別町長

高橋正夫

全国生涯学習市町村協議会は、総合的な生涯学習の施策を推進し、住民が主役の生涯学習行政の発展に寄与することを目的に、全国の139市町村の首長が会員となり、平成11年に設立いたしました。現在の会員数は86市町村に減少しておりますが、協議会事業として、これまで全国各地において、会員自治体の市民や職員向けの「生涯学習まちづくりフォーラム」を開催自治体とともに共催して参りました。「行政と市民の協働による生涯学習のまちづくりの方向性」をより鮮明化し共に学び、情報を交換し、さらに交流を深めて、すばらしい成果をそれぞれの自治体にお持ち帰りいただき、生涯学習による人づくり、まちづくりに活かしていただいております。

また、平成23年度より会長に就任以降、第2期教育振興基本計画策定にあたっては、第6期中央教育審議会生涯学習分科会委員として、今後の社会教育行政推進について、国と地方の役割分担や現場で実効性のある制度や仕組みとなるようにご意見等もさせていただき、また、会員市町村の皆様からも、各地域実情を踏まえた具体的な成果目標や具体的方策につ

いて多くのご意見を賜り、意見反映させていただいたところであります。

さて、昨年誕生した第2次安部内閣は、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略という「3本の矢」で長引く円高・デフレ不況から脱却し、雇用や所得の拡大を目指すこととし、「復興・防災対策」「民間投資の喚起や中小企業対策などを通じた成長による富の創出」「暮らしの安心・地域活性化」の3つを重点分野として掲げています。

一方、地方財政対策としては、自治体の裁量で自由に使えるようにするために導入された「地域自主戦略交付金」（一括交付金）が廃止され、それぞれの自治体が地域の特性や資源を活かした施策を自主的・自立的に展開する地方分権の停滞も危惧されているところであり、今後、私たちが目指すまちづくりの方向性が益々重要になってくることと思います。

各地域において活動の輪が更に広がり、本協議会が益々発展されるとともに本協議会を通じて会員市町村の生涯学習施策が益々充実されることを、ご祈念申し上げます。

生涯学習社会の実現に向けた社会教育推進体制の在り方



文部科学省
生涯学習政策局長

合田 隆史

今、社会教育行政の再構築が喫緊の課題となっています。グローバル化が地域の人々の日常生活にまで影響を及ぼす中で、個人の自立に向けた学習（人づくり）と、絆づくり・地域づくり（社会関係資本の構築）に向けた体制づくりが求められています。しかし、現実の社会教育行政は、地域コミュニティの変質、多様な主体による社会教育関連事業の展開、社会教育の専門的職員の役割の変化などに十分対応しきれていないでしょうか。

第6期の中央教育審議会生涯学習分科会では、今後の生涯学習・社会教育の振興方策について審議が進められ、本年1月に「議論の整理」としてとりまとめられました。この「議論の整理」においては、公民館等の社会教育施設における主催事業重視型の「自前主義」から脱却し、地域住民の絆の構築、地域コミュニティの形成、地域課題の解

決のための主体的な学習環境の醸成に向けて、教育行政の枠から飛び出して、首長部局をはじめ地域の多様な主体との連携・協働によるネットワーク型行政を一層推進していくことが強く求められています。

また、本年4月に出された第2期教育振興基本計画答申の中でも、社会教育推進体制の強化として、「社会教育行政の再構築」を推進し、社会教育主事等の専門人材の役割や配置の見直し、資質・能力の向上を図るとともに、地域の学びを支える人材の育成・活用に取り組むことが盛り込まれています。

第7期の中央教育審議会生涯学習分科会においては、社会教育に関わる人材を含めた社会教育推進体制の在り方についての検討が既に始まっておりますし、全国各地で、社会教育本来の機能を再評価して活性化していくこうとする動きも見られます。

生涯学習政策局は「外向き・前向き・現場主義」をモットーに、職員一同諸施策に取り組んでおりますが、従来の枠を超えた幅広い対話と協働を通じて、皆様から知恵と元気をいただきつつ、新しい時代の社会教育を構築してまいりたいと考えております。

平成
24年度

全国生涯学習市町村協議会

研修会等補助団体

活動実績の紹介

静岡県御殿場市

市民大学講座

御殿場市では、市民が自ら学ぶ喜びを体験する機会として、市民大学講座を開催しました。



熱心に聴き入る受講生たち

各講座の講師がバラエティに富んでいることに加え、受講生の向学意欲も非常に高く、全6回の講座の出席者は毎回ほぼ9割に達し、素晴らしい学習講座が開催できました。

期 日 平成24年9月26日（水）から
平成25年2月2日（土）まで

会場 御殿場市民会館ほか

内 容

○第1回

「体と脳の健康 生活習慣病対策」

「脳にも身体にも必要な12の生活習慣」

生活習慣病予防士 岡村 恭子氏

○第2回

「日本人は歴史から何を学ぶべきか」

静岡大学名誉教授 小和田 哲男氏

○第3回

「二宮尊徳の遺訓」

「混迷の今を生き抜く智勇」

前神奈川県知事 松沢 成文氏

○第4回

「男女共同参画」

前向きにまろく考える」

落語家 林家花丸氏

○第5回

「マスコミに出ない政治経済の裏話」

政治経済評論家 板垣 英憲氏

○第6回

「ヒトから人、そして神へ」

「成人登拝習俗と十三仏信仰」

神奈川大学歴史民俗資料学研究科教授

佐野 賢治氏

滋賀県大津市

生涯学習フェスティバル

2012

大津市では、生涯学習を推進する関係団体等が中心となり、日頃の学習活動の成果発表等を行い、情報の共有・交換をすることにより、団体間の相互交流を一層深めるとともに、あらゆる世代の人たちに新たな発見・体験の場を提供し、自らの学びのネットワークを広げ、団体間の相互交流を一層深めるフェスティバルを開催しました。

期 日 平成24年10月20日（土）

会 場 びわ湖大津館（大津市柳が崎）

テーマ 「来て 見て 体験」

「学びと夢ひろば」

内 容

○屋内会場

出前講座リレー講演・わくわく科学工作・骨密度測定・学んで遊ぼう！・交通安全啓発ひよ子作り・大津絵作品展示・花と緑のまちづくり写真コンクール・ヨシ工作コーナー・風船プレゼン

トとオリジナルしおり作り・平和祈念

展他

○屋外会場

スタンプリー

○特設ステージ

膳所石鹿太鼓演奏・朝のいきいき体操・

膳所石鹿太鼓演奏・朝のいきいき体操・

膳所石鹿太鼓演奏・朝のいきいき体操・



ゆるきやらと遊ぼう・マジックショー・レクリエーションゲームで遊ぼう・民謡演技（びわこ音頭他）・ジャグリングショー・いっしょに遊ぼう！みんなおいで！あそびの祭典！！・マナビイ・おおつ光ルくんダンスタイム他

○芝生広場他

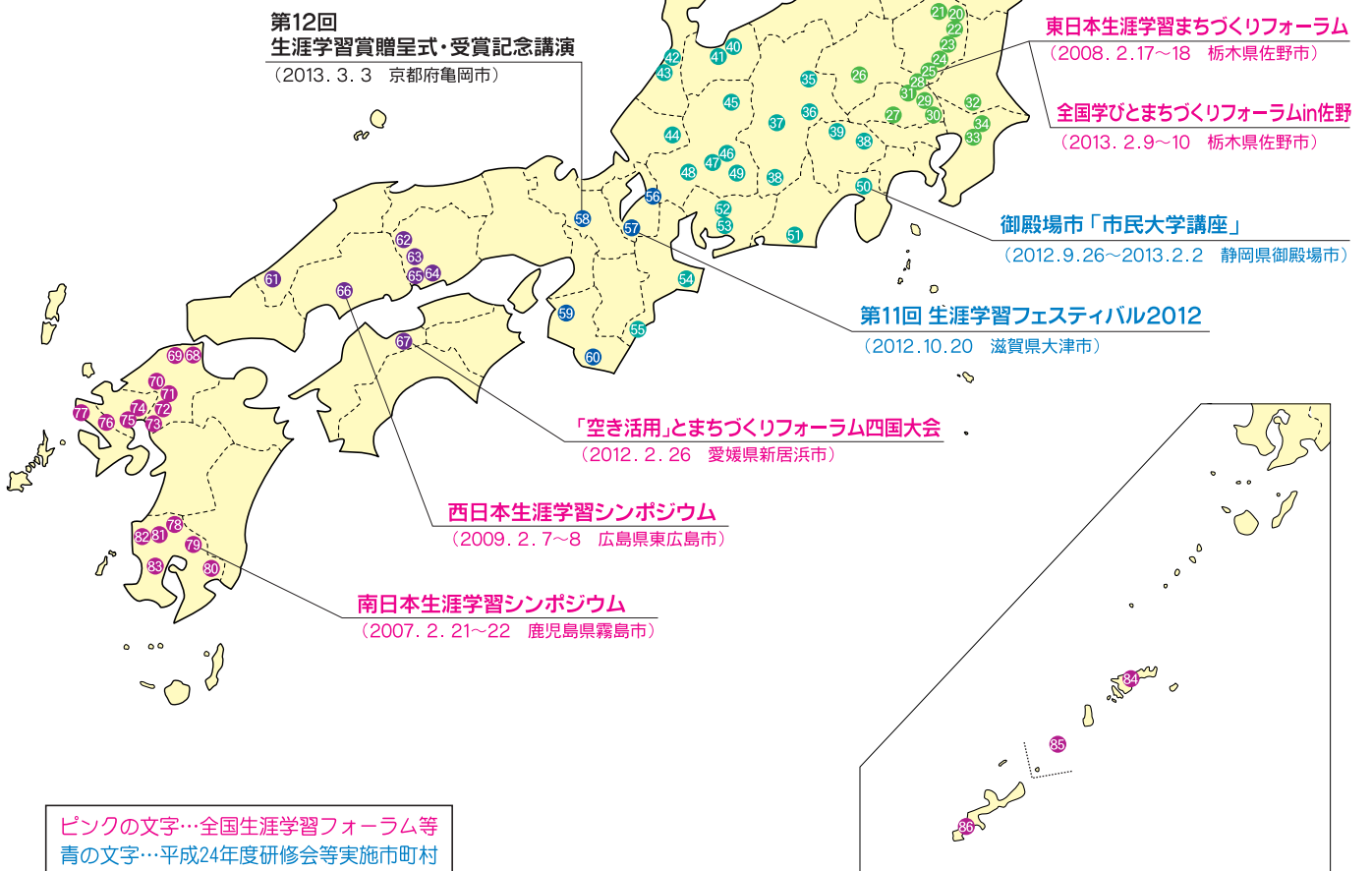
プラバン加工・親子でふれあうアートの世界・マジック、紙芝居・ロープアクセサリーをつくろう・チャレンジランキング・輪投げ、ダーツ・ゲートボール体験・昔あそび体験・親子でつくる簡単工作・カッターボード体験乗船・里山の間伐材、国産割り箸廃材を生かす炭焼き・ツイストパンをつくらう・くらしに役立つロープワーク・広東バナナ配布・Cafeカフエ・模擬店他



う・くらしに役立つロープワーク・広東バナナ配布・Cafeカフエ・模擬店他

平成25年度 会員市町村

北海道	関東	中部	近畿	九州・沖縄
1 稚内市 2 士別市 3 大空町 4 上士幌町 5 本別町 6 千歳市 7 浦河町	【栃木県】 20 大田原市 21 矢板市 22 さくら市 23 宇都宮市 24 栃木市 25 佐野市 【群馬県】 26 高崎市 【埼玉県】 27 所沢市 28 春日部市 29 松伏町 30 八潮市 31 羽生市 【茨城県】 32 阿見町 【千葉県】 33 四街道市 34 酒々井町	【長野県】 35 東御市 36 茅野市 37 箕輪市 38 泰阜村 【山梨県】 39 韮崎市 【富山県】 40 上市町 41 富山市 【石川県】 42 内灘町 43 金沢市 【福井県】 44 大野市 【岐阜県】 45 高山市 46 白川町 47 七宗町 48 岐阜市 49 恵那市 【静岡県】 50 御殿場市 51 掛川市 【愛知県】 52 知立市 53 安城市 【三重県】 54 伊勢市 55 熊野市	【滋賀県】 56 米原市 57 大津市 【京都府】 58 亀岡市 【和歌山県】 59 有田川町 60 すさみ町 【島根県】 61 益田市 【岡山県】 62 新見市 63 井原市 64 浅口市 65 里庄町 【広島県】 66 東広島市 【愛媛県】 67 新居浜市	【福岡県】 68 芦屋町 69 岡垣町 70 須恵町 71 宇美町 72 筑後市 73 柳川市 【佐賀県】 74 多久市 75 武雄市 【長崎県】 76 佐世保市 77 平戸市 【鹿児島県】 78 湧水町 79 霧島市 80 志布志市 81 始良市 82 薩摩川内市 83 鹿児島市 84 奄美市 85 知名町 【沖縄県】 86 那覇市



募集

平成25年度

補助事業・研修会実施 市町村の募集について

協議会では、毎年会員市町村において開催される生涯学習の推進に係る研修会等を援助する目的で、「全国生涯学習市町村協議会研修会等補助金交付要綱」に基づき、運営補助金交付を受ける市町村を募集しています。

平成24年度につきましては、2つの会員市町村にご応募いただき、補助金制度をご利用いただきました。実施各市町のそれぞれの取り組み状況につきましては、

その概要を掲載させていただきました。

協議会といたしましては、この補助金制度を会員市町村にさらに有効にご活用していただきたいと考え、平成25年度におきましても、7月初旬の総会後に募集を開始し、その後決定させていただく予定としております。

つきましては、補助金交付を希望される会員市町村におきましては、協議会ホームページより募集要項をダウンロードし

ていただき、事務局まで申請していただくようお願いいたします。

なお、申し込み多数の場合などにつきましては、十分に検討させていただき選択・決定をさせていただくことになりま

すので、あらかじめご承知おきください。ご不明な点などございましたら、事務局までお問い合わせください。

紹介

全国生涯学習市町村協議会の ホームページ



アドレス

<http://www.gakushu.jp>

全国生涯学習市町村協議会では、ホームページを作成しています。

現在、このホームページには、「加盟市町村名簿」「会則」「補助金要綱」のほか、「各市町村の状況」「お知らせ」等の記事を掲載しております。

当協議会のネットワークを通して、全国各地での取り組み状況や日ごろのご担当者の皆さんが苦慮されていることも含め、様々な情報を集め、会員市町村の皆様がよりよいまちづくりに貢献できるよう、ご活用いただけたら幸いです。

また、「ぜひ、この情報を掲載して欲しい!」とのご要望がありましたら、事務局までご連絡ください。このPRが、明日への発信・発展につながっていくかも知れません。

編集室 から

早いもので、事務局を担当し2年。これまで、会員市町村の皆様にも多大なご理解いただきながら、何とか事務局業務を行って参りました。また、文部科学省生涯学習政策局の皆様には、当協議会の窓口として、総会等の会場確保や事前準備等をはじめ、多大なご協力をいただきました。お世話になりました多くの皆様に改めて、心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、私ごとではございますが、平成21年度に行政実務研修生として、生涯学習政策局（生涯学習推進課）で1年間お世話になりました。当時は、自治体や大学からの研修生が局内で20名程おりましたが、現在は研修生も少なくなってきたようです。

各々の配置先での業務が実務研修の位置付けであります。生涯学習政策局では、月に1回程度、研修生を対象とした国立科学博物館などの関連施設見学や全国規模で開催される各種会議への参加など、様々な研修メニューが用意され、当時、省内の他局と比べても、研修生の受け入れ体制がしっかりしており、大変有意義なものでありました。

研修生を派遣されるなら「生涯学習政策局」がオススメです。